

駐日ロシア大使館御中

**ウクライナにたいするロシアの軍事侵攻を強く非難し、
軍事行動の即時中止を求めます**

2022年2月25日

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

ロシアはウクライナ問題の外交解決をもとめる国際世論を無視して、24日からウクライナ全土への大規模な軍事侵攻を開始しました。これはウクライナの主権と領土を侵す侵略行為であり、国際関係において「武力による威嚇または武力の行使」を慎むよう求めた国連憲章と国際法の明白に違反するものです。

ロシアがどのような口実を主張しようとも、法と人道に反する今度の行為を正当化することはできません。軍事侵攻によって民間人を含む多くの犠牲者ができていると伝えられています。私たちは、このロシアの行動を強く非難し、ロシア軍に軍事行動を即時停止し、撤退するよう求めます。

プーチン大統領は侵攻にあたっての演説で、軍事侵攻の目的を、ウクライナの「脱軍事化、非ナチス化」とのべています。これはウクライナの主権と独立を全面的に否定する覇権主義的態度であり、断じて認めることはできません。

プーチン大統領はまた、ロシアが核兵器大国であることを誇示し、反対する諸国や世論をけん制し核兵器で脅迫する姿勢をみせました。今日の世界で絶対に許されない行動であり、強く非難します。

(以上)